

九州大学との「災害時飲料提供協定」締結について

一般財団法人恵愛団は、九州大学病院との間で「災害時における飲料提供に関する協定」を締結し、非常用備蓄体制の運用を開始しました。

本協定は、災害発生時に患者・職員・避難者の安全を守るため、当財団が九州大学病院に無償で飲料を提供することを定めています。病院敷地内には 15 m²の「非常用備蓄エリア」を確保し、常時約 6.7 トンの飲料を備蓄。2L ペットボトル 1,800 本、500mL 前後のボトル 6,000 本を保管・管理しています。

本取組みは、自動販売機設置業務の延長線上にとどまらず、地域医療を支える九州大学病院の防災体制強化を目的とした、当財団の公益的な使命に基づくものです。今後は賞味期限管理の徹底や災害訓練との連携を通じて、実効性ある支援を継続してまいります。

このたびの協定締結にあたり、ご理解・ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

令和 7 年 4 月

一般財団法人恵愛団
理事長 田中 健次

